

公開シンポジウム

社会的包摂



政策の成功と失敗

～イギリスの経験、日本の希望～

Japan-UK Research Cooperative Program



基調講演者

デイヴィッド・ゴードン

ブリストル大学 タウンゼント国際貧困研究所長

湯浅 誠

内閣府参与 / 内閣官房社会的包摂推進室長

パネリスト

ジョナサン・ブラッドショー (ヨーク大学)

クリスティーナ・パンタジス (ブリストル大学)

駒村 康平 (慶應義塾大学)

岩田 正美 (日本女子大学)

橘木 俊詔 (同志社大学)

モデレーター

阿部 彩 (国立社会保障・人口問題研究所)

2011年4月、内閣官房に社会的包摂（ホウセツ）推進室が設置されました。メディアにもあまり注目されませんでした。が、「派遣村」の湯浅誠氏を室長として迎え、貧困のみならず、無縁化、孤立化し、社会から切り離された人々を社会に取り込む「社会的包摂」という概念を持ち込んだ新しい方向性が打ち出されました。

既に、フランスの「反排除法」、イギリスの「社会的排除問題対策本部（Social Exclusion Unit: SEU）」、EUの社会的包摂ナショナル・アクション・プランなど、社会的包摂政策は、世界の社会政策の実践の場においても取り入れられています。しかしながら、社会的包摂推進室のモデルであったイギリスSEUは、1999年と早くに設置されたのにも関わらず、新政権の下、現在は廃止されています。10年間のSEUはイギリスの社会政策に何をもたらしたのか、また、何を達成し、達成しなかったのか。イギリスの経験から日本の包摂政策が学ぶべきものは何か。日英の社会的包摂政策を牽引してきた2名を迎え、とことん議論します。是非、ご参加ください。

2012年 1月 7日(土) 13:00～17:15

慶應義塾大学 北館ホール

入場無料 / 先着200名 / 事前登録制(詳細は裏面)

<http://www.ipss.go.jp/int-sem/JPUK2012>
(最新情報は特設webサイトへ)

プログラム

13:00

開会挨拶

Opening Words

西村 周三 (国立社会保障・人口問題研究所長)
Shuzo NISHIMURA (Director, IPSS)

13:15

基調講演 1

Keynote Speech 1

「イギリスの社会的包摂政策：成功と失敗」
"The Successes and Failures of Social Inclusion Policy in the UK"

デイヴィッド・ゴードン

(ブリストル大学 タウンゼント国際貧困研究所長)
David Gordon (Director, the Townsend Centre for
International Poverty Research, Bristol University)

基調講演 2

Keynote Speech 2

「日本の社会的包摂推進室の試み」

"Social Inclusion Policy in Japan"

湯浅 誠

(内閣府参与 内閣官房社会的包摂推進室長)
Makoto YUASA (Head, Social Inclusion Unit Japan)

15:00

休憩

Break

15:15

パネル・ディスカッション

Panel Discussion

パネリスト：

Panelists:

デイヴィッド・ゴードン

David Gordon (Bristol University)

湯浅 誠

Makoto YUASA

ジョナサン・ブラッドショー (ヨーク大学)

Jonathan Bradshaw (York University)

クリスティーナ・パンタジス (ブリストル大学)

Christina Pantazis (Bristol University)

駒村 康平 (慶應義塾大学)

Kohei KOMAMURA (Keio University)

岩田 正美 (日本女子大学)

Masami IWATA (Japan Women's University)

橋本 俊詔 (同志社大学)

Toshiaki TACHIBANAKI (Doshisha University)

モデレーター：

Moderator:

阿部 彩 (国立社会保障・人口問題研究所)

Aya ABE (IPSS)

17:15

閉会

Closing

開催概要

イベント名

公開シンポジウム

「社会的包摂政策の成功と失敗～イギリスの経験、日本の希望～」

日時：

2012年1月7日(土)

13:00 ~ 17:15 (12:30 開場)

会場

慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール

(〒108-8345 東京都港区三田2-15-45)

言語：日本語、英語(同時通訳有り)

参加費：無料

定員：先着200名

事前登録：必要

主催：国立社会保障・人口問題研究所

後援：慶應義塾経済学会

このシンポジウムは平成23年度独立行政法人日本学術振興会とイギリス Economic & Social Research Council との二国間交流事業(セミナー)による支援を受けて開催されます。

お問合せ先：

国立社会保障・人口問題研究所

社会保障応用分析研究部 上枝 または 白瀬

Tel: 03-3595-2984

Fax: 03-3502-0636

E-mail: JPUK2012@gmail.com

特設Webサイト：

<http://www.ipss.go.jp/int-sem/JPUK2012>

(最新情報はこちらよりご確認下さい)

参加ご希望の方

席数に限りがありますので、12月22日までに、インターネットまたはFAXでお申込みください。

お申込方法：

インターネットの場合

<http://www.ipss.go.jp/int-sem/JPUK2012> にアクセスし、サイトの案内に従って「申込フォーム」よりご登録下さい。

FAXの場合

氏名、所属、連絡先(電話番号とE-mailアドレス)を明記の上、03-3502-0636にお送りください。

会場へのアクセス

会場

慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
(〒108-8345 東京都港区三田2-15-45)

アクセス

JR山手線・JR京浜東北線「田町駅」西口から徒歩8分
都営地下鉄浅草線「三田駅」A3出口から徒歩7分
都営地下鉄三田線「三田駅」A10出口から徒歩7分
都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」赤羽橋口から徒歩8分



©2011 Google - 地図データ ©2011 ZENRIN